

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 8 号)

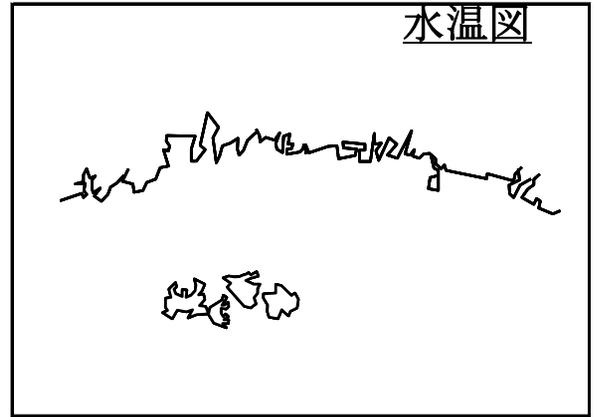
2023年12月14日発行
 兵庫のみ研究所

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスの発生量は大きく減少しており、ほぼ確認されなくなりました。窒素は、赤穂漁場で $1 \mu\text{g at/L}$ 以下、室津～網干漁場で概ね $2 \sim 4 \mu\text{g at/L}$ 台、沖合漁場で $2 \mu\text{g at/L}$ 前後の値となっています。

(珪藻)

海域全般に、コシノディスカスの発生量は大幅に減少しており、網干漁場を除き、ほぼ確認されなくなりました。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり赤穂～岩見漁場で $0 \sim 10$ 細胞(前回値： $15 \sim 250$ 細胞)、網干漁場で 100 細胞(前回値： 450 細胞)、沖合漁場で $0 \sim 20$ 細胞(前回値： $500 \sim 700$ 細胞)であった。

赤穂～室津漁場では、キートセロス、レプトシリンドラス等の小型珪藻が多く確認された。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.4	2.8	3.6	2.5
	リン	0.72	0.55	0.52	0.47
家島・坊勢	窒素	1.6	1.9	4.5	5.2
	リン	0.62	0.66	0.64	0.73
		(12/4)			(12/16)

栄養塩 (窒素) 図

2023年12月14日調査

